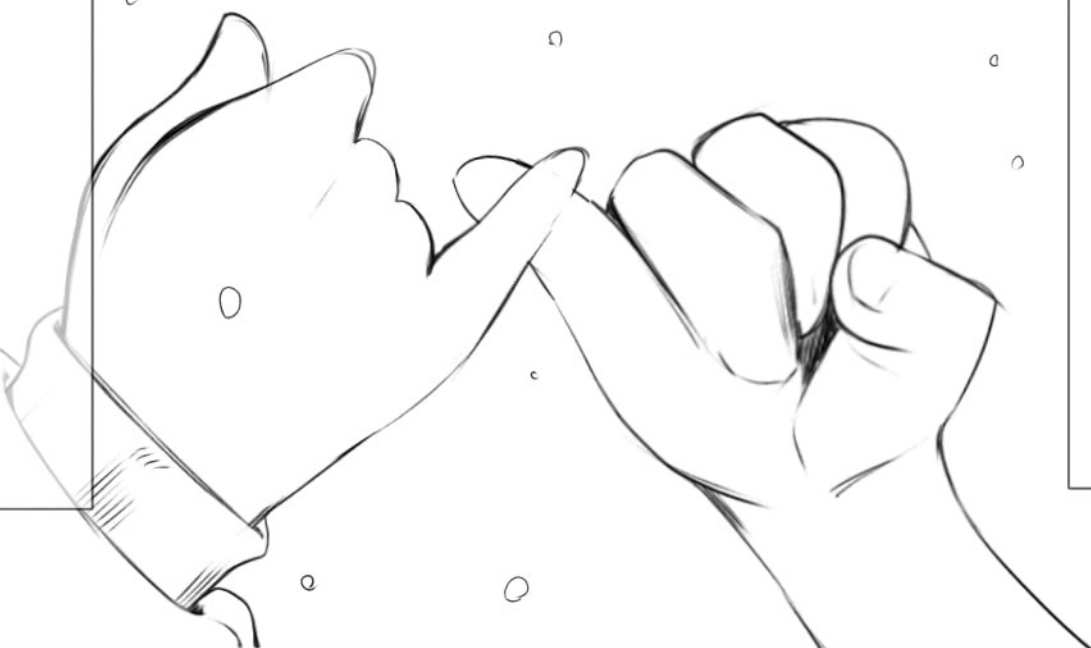




子供の頃誓った結婚に

期待を抱いているのは
僕だけじゃないはず。



まだ小さな僕の記憶には

彼女との思い出だけが
雪のように積もっていった

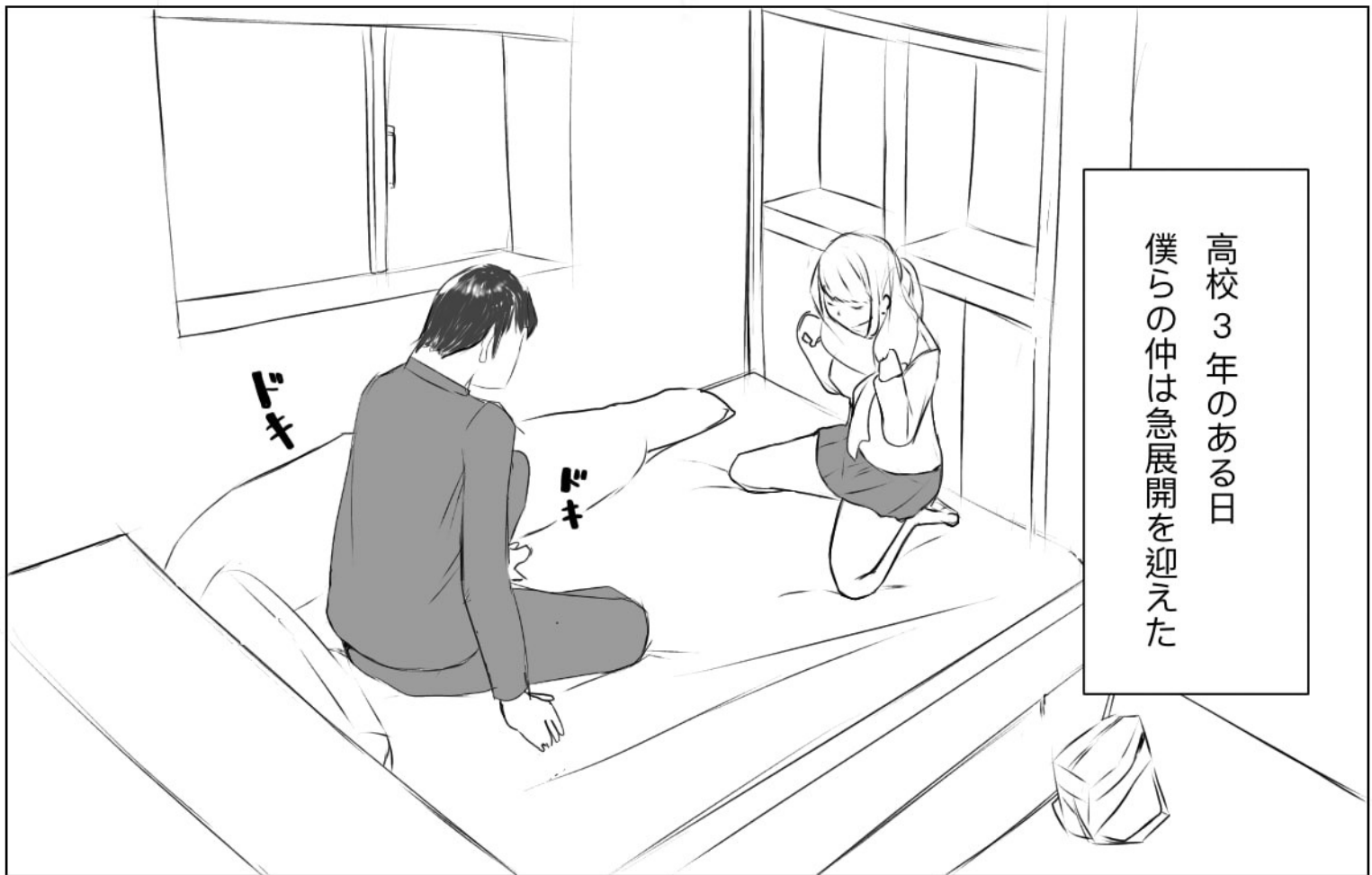




季節は流れ



あったかい



高校3年のある日
僕らの仲は急展開を迎えた



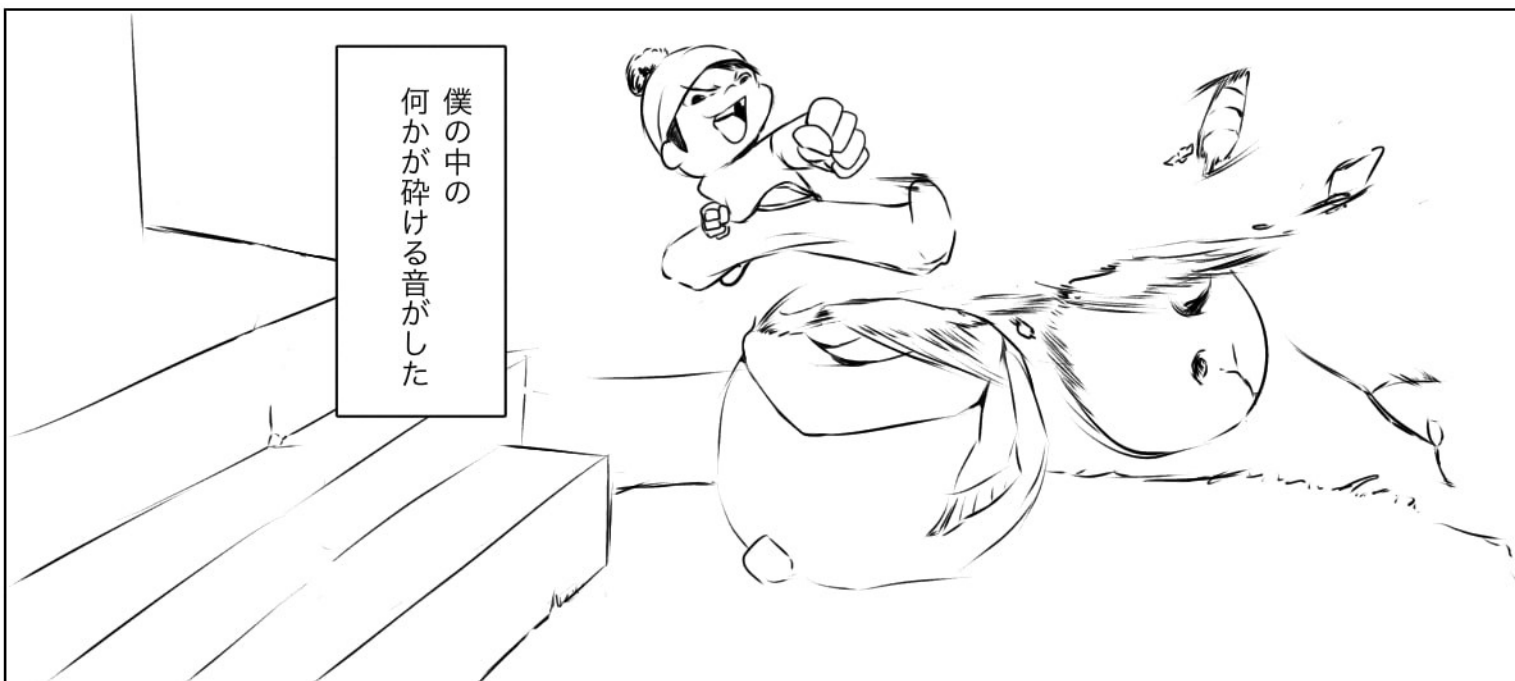
さらに彼女は
微笑みながら続けた



もう色々めんどいからさ!!
お金ちょうだい!!



僕の中の
何かが碎ける音がした





この日
僕の中に積もっていた
黒い雪が

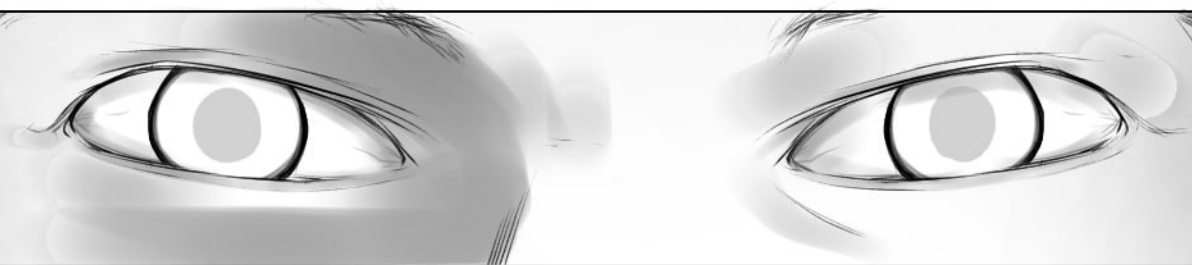
シュー

マグマの上に落ちた岩のように

ドン

勢いよく溶けて消えた気がした

シューッ



そこにはまるで
初めから何も無かったかのように

空っぽになった僕は
嘘みたいにスッキリしていた



そっか

まあそうだよな

えっ





君の選択肢は
2つだね

フ...

開き直って
暴走し
この先の人生を
無駄にするか



く...

僕に媚びへつらうか

ズボ

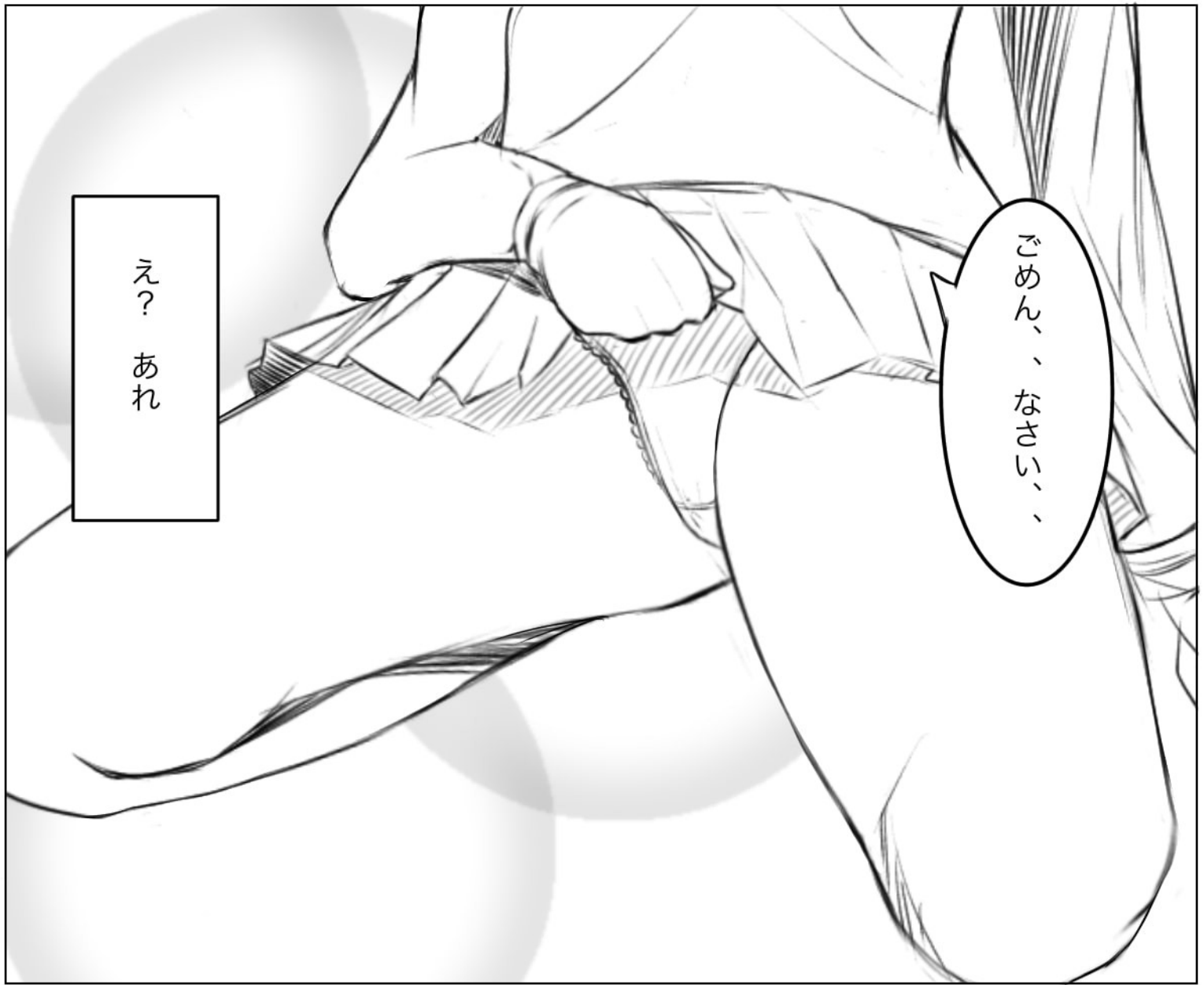
選んでいいよ





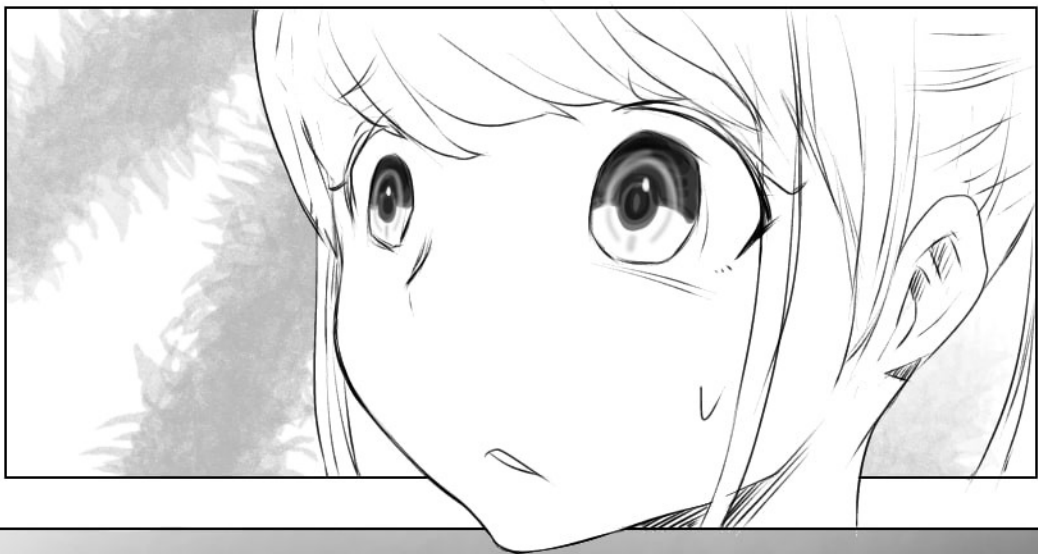






ごめん、なさい、

え？ あれ



まって、

何これ、

ごめんなさい
許して、

いやだね。

うわ
可愛いパンティ

それ、
後ろも見たいな
ハァ

何言ってるの!?

はっ!?
え、これ

操られて、

































脳は嫌がるのに

身体では拒絶できない
どうせなら脳もおかしくしてほしかった

んっ

ジュルルル

それから
私がされた事は、

は、

は、

ヌロ☆...

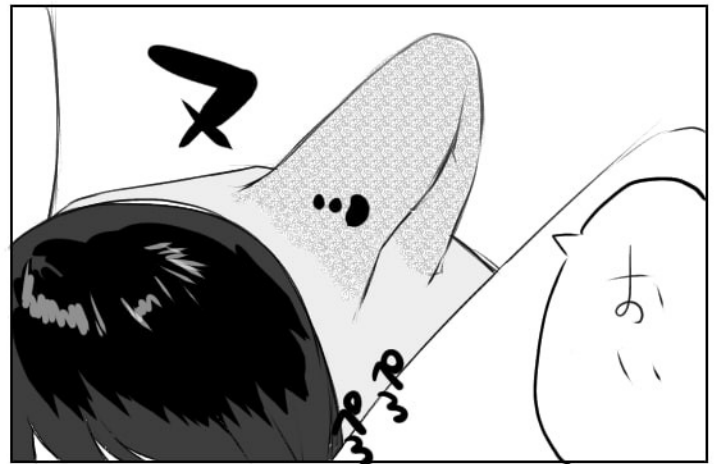
うう

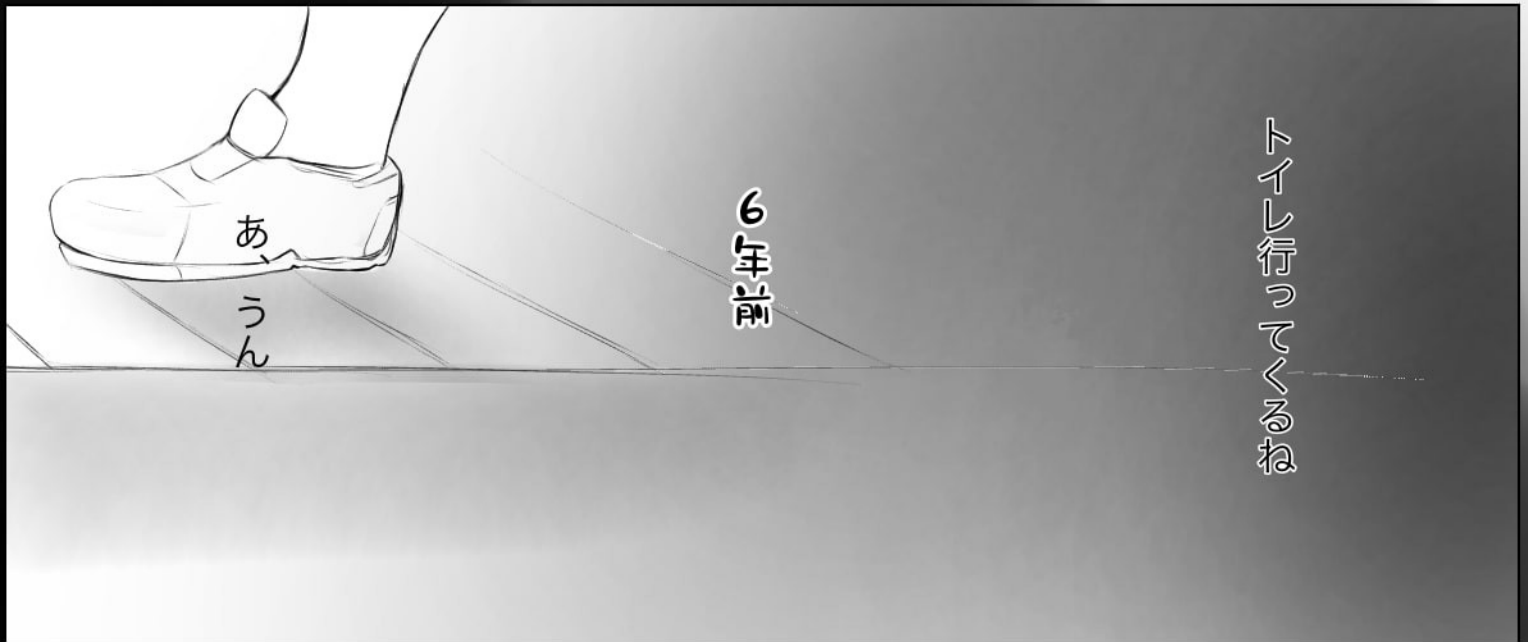
んっ

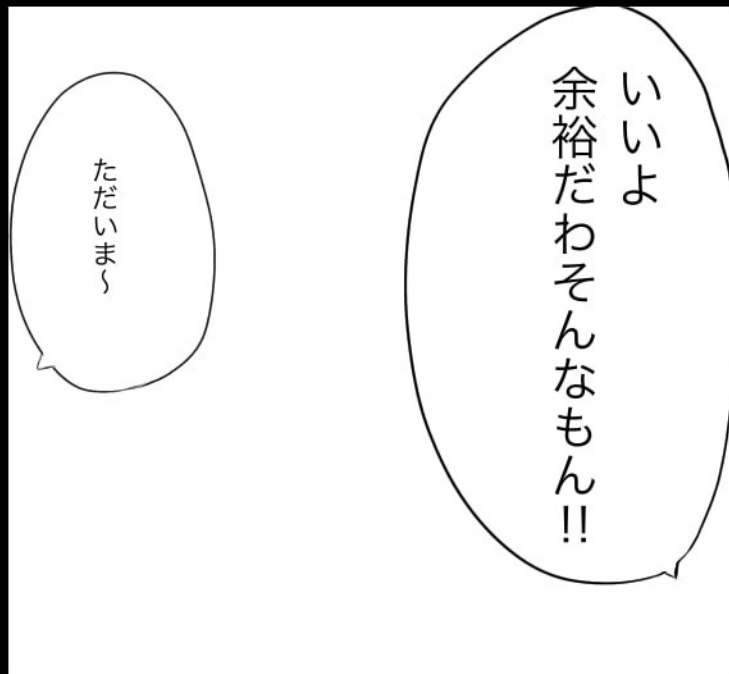
思い出したくもない

んっ

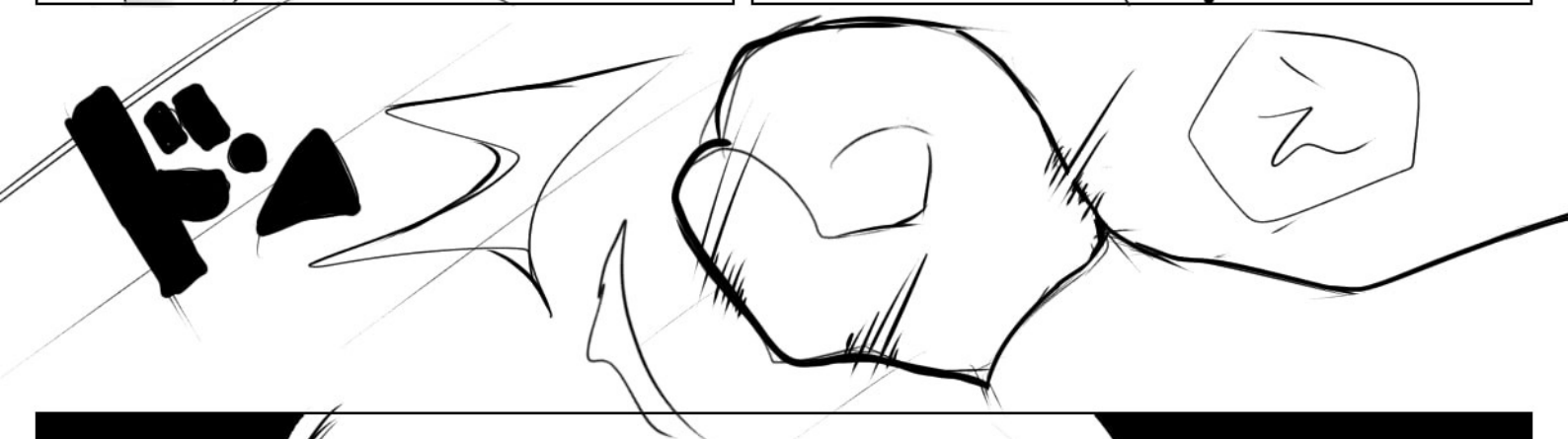
んっ















思い通りにできるなら
なんだっていい

なら、契約成立だな



待ってよみきちちゃん



俺は分かっていた

みきちちゃんが
その場しのぎで契約を交わす事を。

この時ももう少し冷静に
契約内容を把握していればと
悔やむのはこれから6年後だった。

契約

① 悪魔と契約を結ぶ事で能力を得る

② 契約内容は開示しなければならない

③ 契約後、悪魔の言う事に逆らう事は許されない

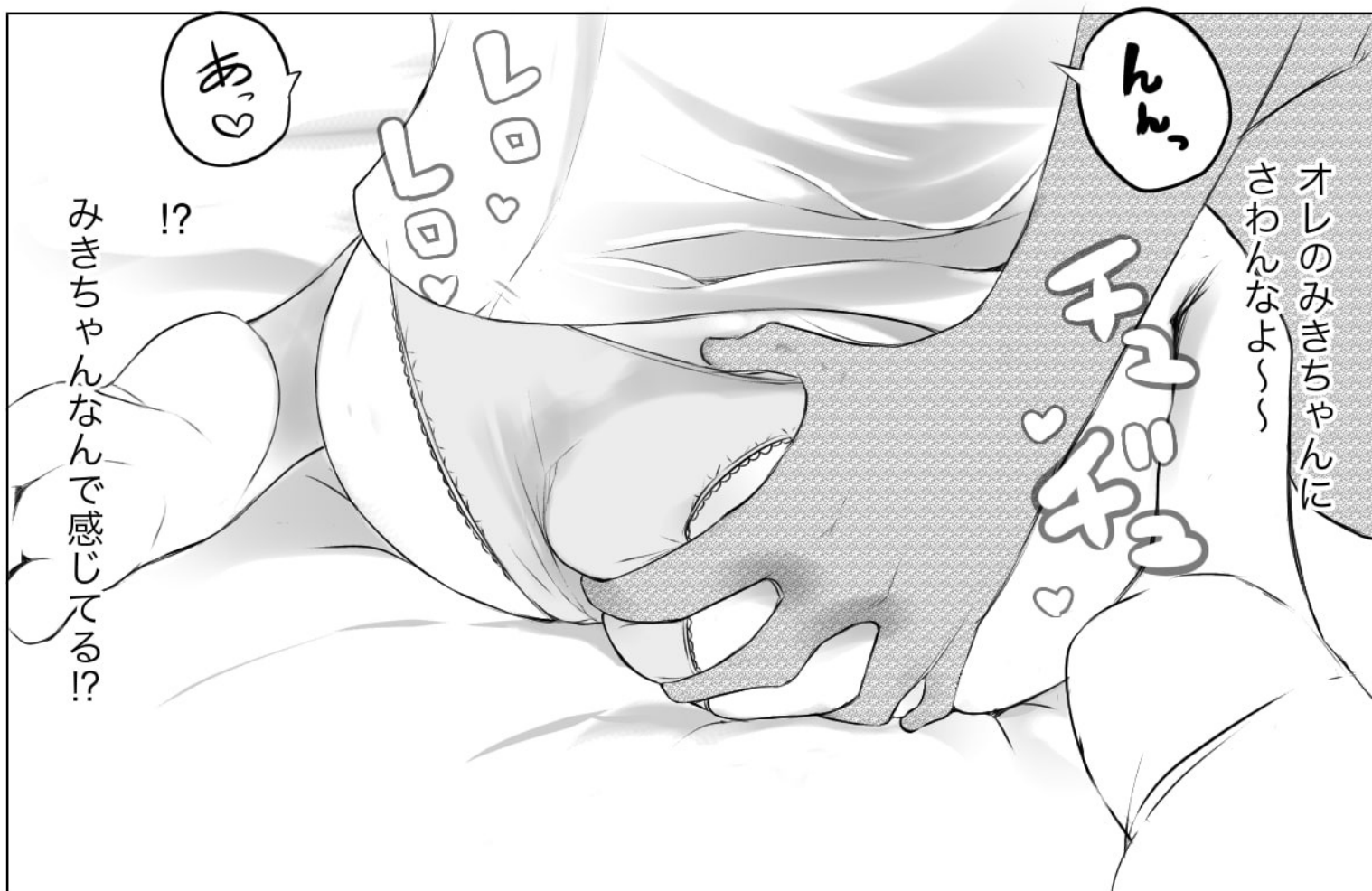
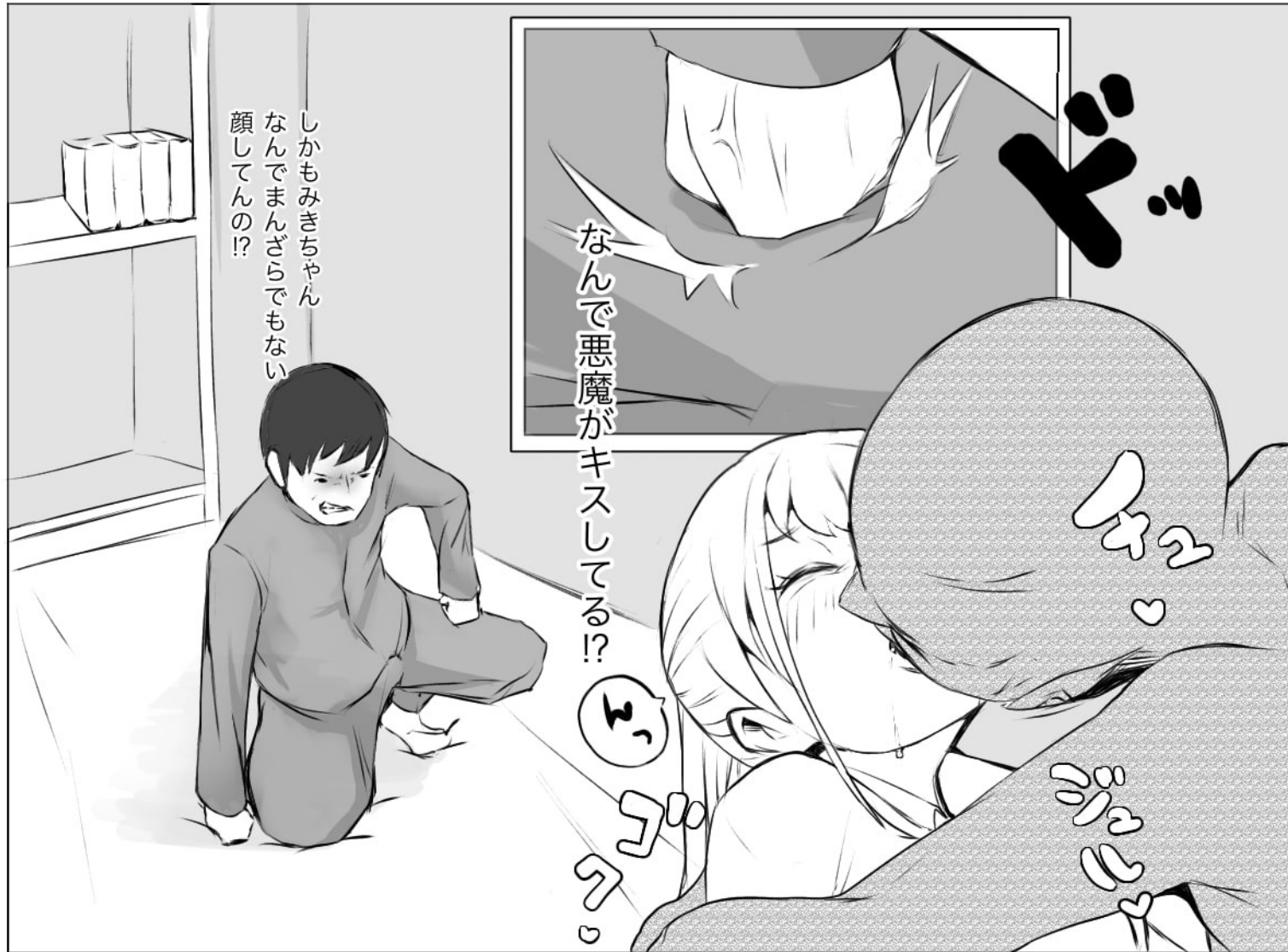
④ 契約者が能力発動後、悪魔は物体に触れる事ができる

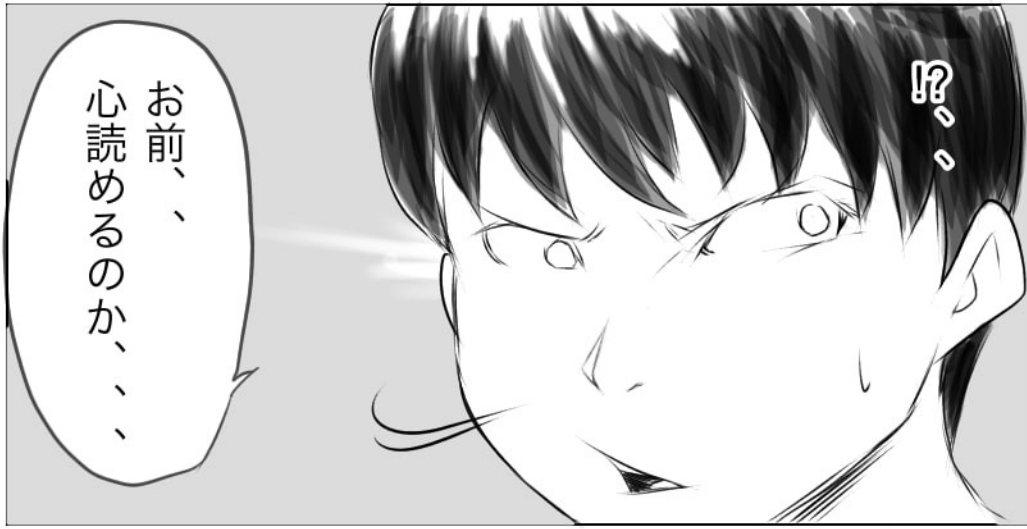
☆ 異性と婚約を交わす

☆ 婚約が破棄された場合に能力が発動する

☆ 瞳を合わせる事で相手の命令信号を操る事ができる









悪魔なんか
愛撫されて

大好きな幼なじみが

なんで俺は、

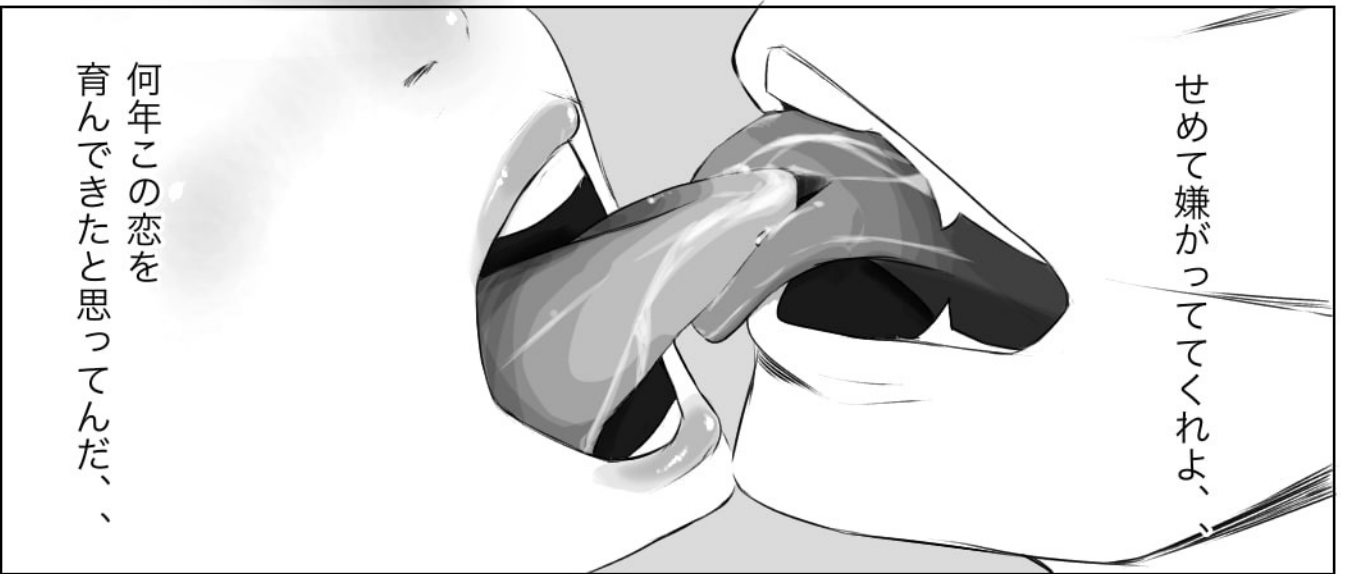


こんなに、

!!



こんな悲しいこと
ってあるか、



せめて嫌がっててくれよ、

何年この恋を
育んできたと思ってるんだ、



悔しい

しりり

くそ、

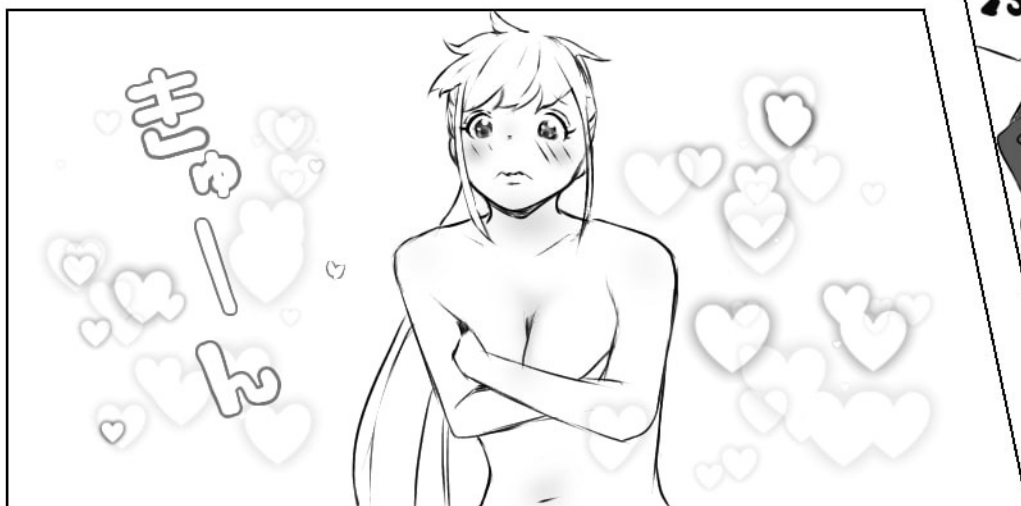
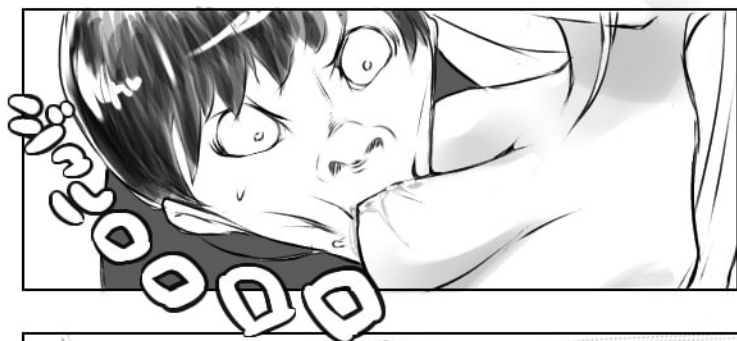
カッ

カッ







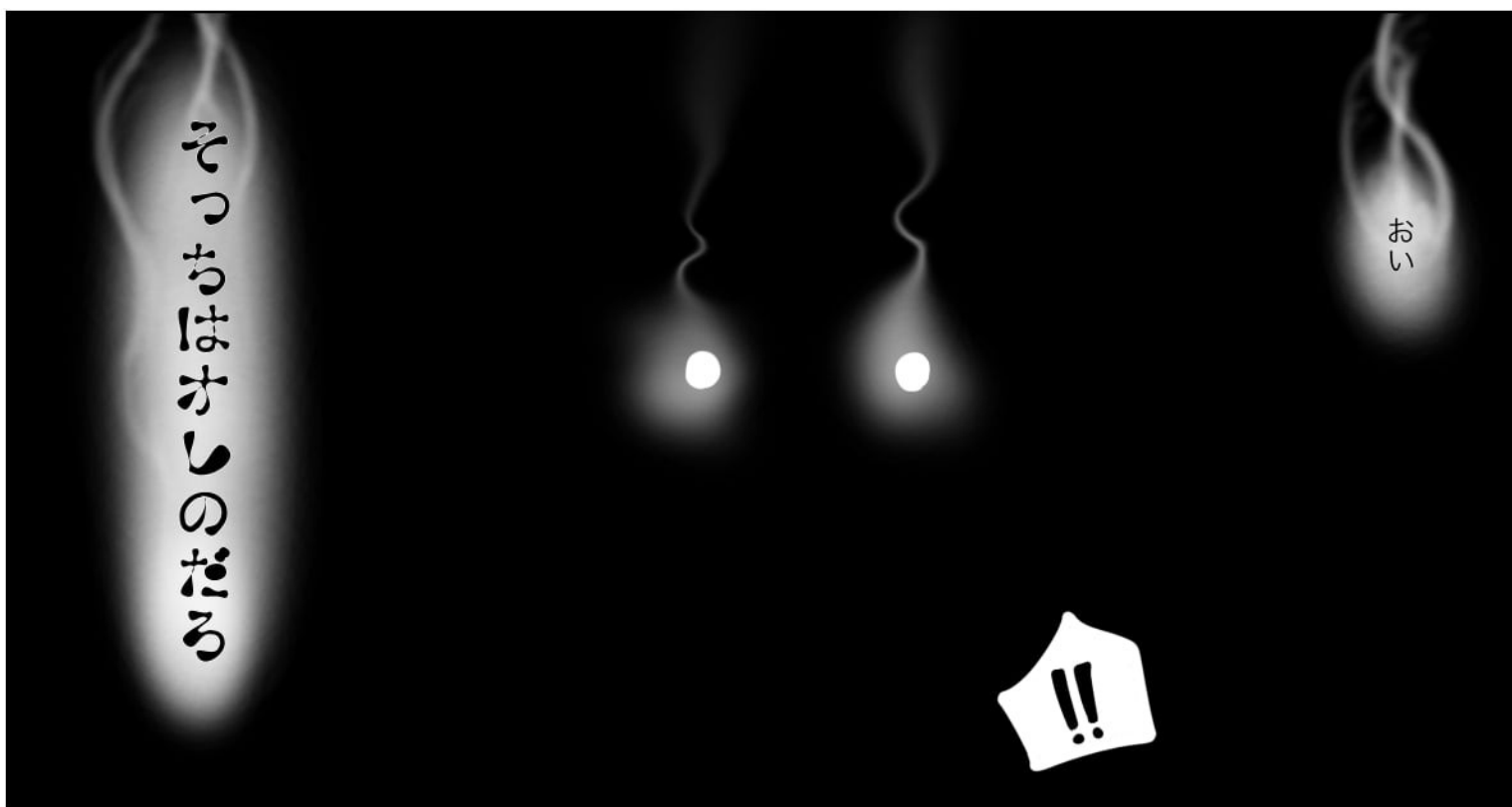






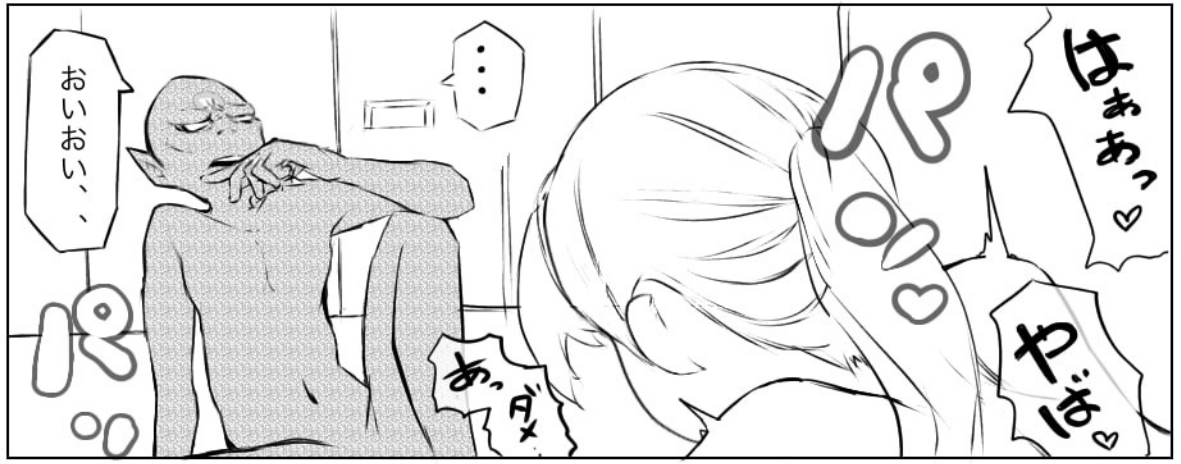






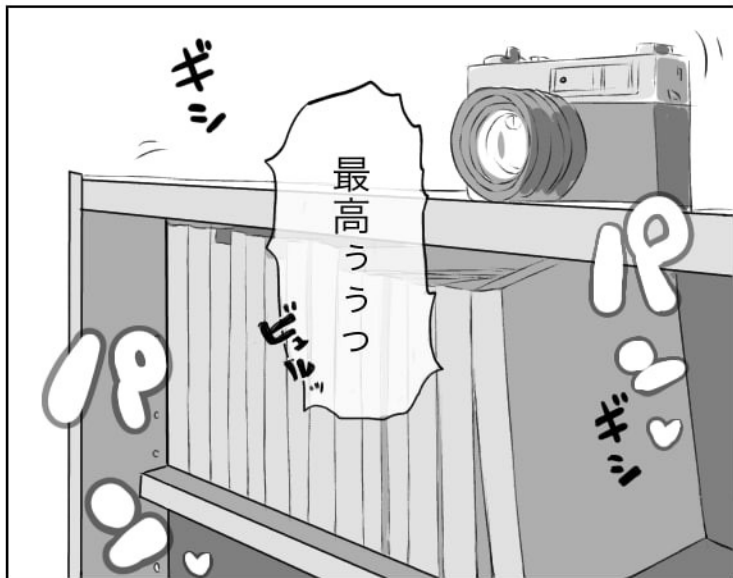














ご購入頂き誠にありがとうございました。

3、逆らうと罰として悪魔を交代する

ほんとーに心から感謝しております。

ありがとうございます。





